

## 学校給食調理業務の民間活用方針（案）に対する意見募集の実施結果

### 1 意見募集の概要

#### （1）意見の募集期間

令和3年9月1日（水）から令和3年9月14日（火）まで

#### （2）案の公表方法

ア 佐久市のホームページへの掲載

イ 佐久市役所市民ホール、学校給食課、各支所高齢者児童福祉係窓口に閲覧用として設置

#### （3）意見の募集方法

ア 郵送

イ ファックス

ウ 電子メール

エ 直接持参（佐久市教育委員会 学校給食課）

### 2 意見募集の結果

（1）提出された意見 27名・93件

（2）提出された意見の概要とそれに対する市の考え方  
別紙のとおり

No.	意見要旨	市の考え方
1	アレルギーに対する対策はどのように取られるのか、など様々な不安が出てくると思います。費用削減と効率化のためのアウトソーシングによってこれらの不安が解消できるとは考えられません。	<p>アレルギー対応は、「佐久市学校給食アレルギー対応食供給事業実施要綱」等に基づき、対象食材の除去や代替食の提供による対応を行っております。</p> <p>食物アレルギーの症状は、一人ひとり様々なので、保護者と学校関係者、各給食センターの栄養士による三者面談を行い、どのような対応ができるか話し合っております。</p> <p>民間委託導入後も、三者面談を引き続き行い、アレルギー担当調理員がアレルギー食材の除去や代替食の調理を行います。さらに、民間事業者の責任者とアレルギー担当栄養士との十分な連携及び情報の共有を図り、安心して安全な給食の提供をしております。</p>
2	佐久は、民間を活用している松本地区よりアレルギー対応もわかりやすくしっかりしているとも聞きました。今の質が絶対保てる確証があるのでしょうか？	No.1 のとおりです。
3	献立作成は県栄養教諭、運営を佐久市職員、調理作業を民間業者と立場が違う3者での対応が必要になり、アレルギー対応等の作業方針などを統一するのに、調整が煩雑になる懸念があります。	No.1 のとおりです。
4	民間委託によって市が責任を負わなくなっても、調理現場が抱える困難はなくなりません。請け負う企業はコストカットに務めざるを得ず、長期的には給食の質が下がるおそれがあります。仕様書で全てが担保される訳ではありません。	<p>学校給食調理業務は、総務省の「地方行政サービス改革に関する取組状況等の調査」によれば71.6%（令和2年4月1日現在）の市区町村において民間委託が導入されております。</p> <p>学校給食全体の運営については、これまでどおり教育委員会が責任をもって対応します。</p> <p>民間事業者が調理業務を受託した場合においても、献立作成や食材購入、検食などは現行どおり教育委員会で行います。また、委託する調理業務では、「学校給食衛生管理</p>

		<p>基準（文部科学省）」「大量調理施設衛生管理マニュアル（厚生労働省）」「学校給食の手引き（長野県教育委員会）」及び「佐久市学校給食危機管理マニュアル」等の関係法令を遵守し、食品衛生責任者を置き、安全衛生管理の徹底を仕様書に盛り込みます。また、既に委託を実施している市区町村の仕様書も参考にしつつ、給食の質が低下することなく、これまでどおり安心安全な給食を提供します。</p>
5	<p>「学校給食調理業務」の民間活用方針（案）について反対します。理由は、民間活用して、前より食材数が減ったり、冷食が増えた、量も減った等の話をよく聞きます。</p>	<p>民間委託となった場合でも、献立の作成、食材料の発注、購入は、各センターの栄養教諭等が行うことから、給食の品質・量については変わることなくこれまでどおり安心安全な給食を提供します。</p>
6	<p>今は学校給食を使わせてもらっている子はいませんが、学校給食の民営化は絶対に反対です。</p> <p>学校給食を市長さん始め、民営化にしようとしている方々は食したことがありますか？</p> <p>夏の暑い過酷な作業場を見学したことがありますか？</p> <p>栄養士さんの予算と計算を知っていますか？</p> <p>栄養士さんは、給食着が汚れてもいいように、金曜日にカレーやミートソースを出していることを知っていますか？</p> <p>これは、お母さんたちの洗濯の負担を軽減するためだそうです。週末は必ず家に給食着を持ち帰りますから。本当に助かります。小学生と中学生の時間がズレても温かい給食が食べられるように、時間にあわせて作られていることをご存知ですか？</p> <p>地域の食材を使って、地域に還元し、佐久の食文化を繋ごうと努力していることをご存知ですか？お昼の給食が唯一の食事になる子供たちが本当にいることを知っていますか？</p>	<p>学校給食調理業務は、総務省の「地方行政サービス改革に関する取組状況等の調査」によれば71.6%（令和2年4月1日現在）の市区町村において民間委託が導入されております。</p> <p>学校給食全体の運営は、これまでどおり教育委員会が行います。</p> <p>学校給食センターは、「献立の作成」から「食材の購入」、「調理作業」、「洗浄・消毒」など複数の工程で運営しています。</p> <p>このうち調理業務について委託し、給食の質や味にかかわる献立作成や食材購入、検食などについては、従来どおりであるため、給食の品質は変わることなく、安心安全な給食を提供することができます。</p>

	<p>勉強が嫌いでも、学校に行きたがらない子供でも、給食は大好きです。特に佐久市の給食センターの取り組まれている給食はどこの地域にも負けない温かさ、優しさがある給食です。</p> <p>コロナ禍だからこそ、失くさないで下さい。民間には同じことは絶対に出来ません！そして、是非毎日給食を食べてみて下さい。本当に美味しいですから。市長さんは、1ヶ月位、毎日給食食べてみたらどうですか？あと、議員さん方も。とにもかくにも、民営化にしたら絶対に質・味は落ちます。市政のコストダウンは、将来を担う子供たちにしわ寄せがいてはいけません。将来の子供たちのために、民営化はやめて下さい。</p>	
7	<p>私は、学校給食の「民営化」に反対です。我家も子どもたちが、そして今は孫が学校の給食のお世話になっています。子どもたちも、それぞれ楽しみの献立があったようです。季節や行事を取り入れての献立や、何よりきめ細かに配慮された献立は、アレルギーの子や、子どもたちの成長には欠かせないものです。栄養士さんや調理して下さる皆さんに感謝です。</p>	<p>学校給食の献立、食材料の発注、購入については、現行どおり各学校給食センターの栄養教諭及び学校栄養職員が行い、行事食等も引き続き実施していく予定です。</p> <p>また、アレルギー対応については、No.1のとおりです。</p>
8	<p>異物混入、食中毒等、トラブルがおきた場合、市が責任をもって対応できるのか不安。</p>	<p>異物の混入があった場合は、調理業務委託後も、起こった事案の内容を踏まえて判断し、これまでどおり市が責任をもって対応を行います。</p> <p>今後も問題が発生した場合には、原因の究明を行い、再発防止に向けた対応を行うとともに、民間事業者にも必要な対応を指示し徹底を図ってまいります。</p>
9	<p>我が家では3人小学生がいます。ご飯への異物混がありました。(1学期の終わりに学校から手紙、2.3日前にも子供がご飯に黒いものが入っていたといっていました。)食を扱う業者としては考えられないようなことが起きています。その点の安</p>	<p>現在は、調理業務を直営で行っておりますが、異物の混入があった場合には、市で責任をもって対応しています。</p> <p>調理業務委託後においても、引き続き市が責任をもって対応を行うとともに、再発防止対策を実施していきます。</p>

	心の担保はできるのでしょうか？心身ともに成長期にある子供たちに安心して食べられる環境を整えてあげたいです。	
10	民間企業は効率主義で、安全性などが疎かになってしまわないか心配です。現場の意見を聞く機会を誠実に作っていただきたいです。	<p>本年9月に、調理員・栄養士を対象に、説明会を行い直接意見を聞く場を設けました。</p> <p>また、無記名によるアンケートも行う中で、様々な意見もいただきました。</p> <p>今後も丁寧に意見を伺うよう努めてまいります。</p>
11	佐久市が示している「学校給食調理業務」民間活用方針（案）を読むと、令和8年度に調理業務を民間委託する事が決定されているように読めますが、広報には「この方針（案）に対する市民の皆さんの意見を募集します。」とありますので、この意見を聞いた上で市民への情報公開と説明を行い、市民の理解を得た上で進めて頂くものと確認させて頂きませんが、よろしいでしょうか。	<p>学校給食調理業務民間活用方針（案）について、パブリックコメントでいただいた意見は、ホームページで市の考えを公表します。</p> <p>また、市民の皆さんへの説明を丁寧に、合意形成を図った上で進めていきたいと考えております。</p>
12	<p>必ず地区単位で説明会を開き、丁寧な説明と意見交換の場を設けて下さい。</p> <p>当事者（学校、学校保護者、給食職員、給食応援団）に直接の説明もなく、いきなり新聞で知らされるという乱暴なやり方に、皆憤りを感じています。</p> <p>市のHPでの周知やパブリックコメントの募集などは、ほとんどの方はそこまで見ていませんし、コメントを書くほどの余裕もありません。</p> <p>それは市民の問題だと言われるかもしれませんが、そんな方法に終始しようとするならば、行政の怠慢だと言わざるを得ません。</p> <p>今日締め切りのパブリックコメントで終わらせるような事はありません。</p> <p>説明会は議会採決の前に開催し、結果ありきの形だけのものにはせず、白紙の状態で開催して頂くようお願い致します。</p>	<p>学校給食調理業務の民間委託について、保護者及び関係者の皆様に丁寧な説明を行ってまいります。</p>

1 3	<p>コロナ禍で、保護者や市民に説明会等ができない状況だと思います。そのような時期に、いま進めなければいけない事案とは思えません。各学校や地区で、意見交換できる会をしたうえで、検討してほしいです。</p>	No.1 2のとおりです。
1 4	<p>学校給食の民間委託は反対です。 市民の意見をしっかり聞いてから結論を出してください。</p>	No.1 2のとおりです。
1 5	<p>民間委託に反対です。民間業者はやはり経営主義です。利を生み出すためにコストカットせざるを得ず、子どもたちへの安全安心な給食が提供できるか心配です。時間をかけて説明会を開くなど、保護者の声を聞く機会を作ってください。</p> <p>この際、給食について子どもたちの思っていることもすくい上げてください。</p> <p>コロナ禍にあって、子どもたちは集団生活の様々な制約を受け入れながらも元気に頑張っています。将来を担う子どもたちに必要なお金は、私たちの税金を十分にかけてあげてください。ぜひ考慮してください。</p>	No.1 2のとおりです。
1 6	<p>子ども達全員に関わる給食センターの在り方は、使用者に限られる他の公共施設の運営とは異なる性質のものです。センターの職員はもちろん、学校現場職員、保護者や地域の意見を丁寧聞き、これからの子ども達にとってどういう形がいいのか、をしっかりと議論してから進めていただきたいです。こんなに大きな方向転換なのに、学校職員でもこの件について知っているのはごく一部だけです。健康都市を謳う佐久市の学校給食が、こんな形でいいのでしょうか？</p>	No.1 0のとおりです。
1 7	<p>偽装請負を避けるため栄養士は調理員に直接指示が出せなくなりますが、先行している中野市では「現場の連携が乱れる」「結局栄養士が手を出さざるを得ない」な</p>	<p>サウンディング型市場調査の結果、民間事業者との対話の中で、事前に発注者と民間事業者の責任者がしっかり打ち合わせを行うことで不都合は生じていないと意見を</p>

	<p>どの実態があると聞きます。万が一の給食事故の際に責任がとれるのかも心配です。「学校給食を大切に」「食育を大切に」とは、「食べる人」と「つくる人（食材生産者、献立作成者、調理担当者）」を人間として尊重することです。調理現場のワーキングプア状態を放置し、できあがる給食の味や見栄えにしか関心を持たないのでは外食サービスと変わりません。市には、学校給食をコストと考えるのではなく、佐久市の教育環境への投資と捉える見識を示していただきたいです。</p>	<p>いただいています。</p> <p>民間事業者と情報を共有し、コミュニケーションを大切にしながら、児童・生徒に安心で安全な給食の提供をしてみたいです。</p> <p>学校給食全体の運営については、これまでどおり教育委員会が責任をもって対応します。事故が起こった場合は、直営か委託にかかわらず、起こった事案の内容を踏まえて判断し、対応します。</p> <p>なお、緊急の場合は直接指示ができます。</p>
18	<p>「別紙」の「労働者派遣法の問題」について、13日の議会答弁では、偽装請負対策としては「法律を守るように仕様書、契約書に明記し、双方の職員に周知する」「連携を密にする」という、当然のこののみにとどまっていたが、先行自治体の現場ではそれらは当然行っただけで、それでも「偽装請負を行わなければ現場が回らない」という現場の声がある。それらの現場の実情を踏まえた、より具体的な防止策は検討すべきだと考えるが、どうか。</p>	<p>法的に発注者が責任者を通さず、直接調理員に指示をすることは、偽装請負となり禁じられているため、日常的、一般的な調理遂行の指導等を業者の責任者と打合せ、協議により行います。先行自治体においては、このような打合せを日々の決まった手順に組み込み、問題なく運用している事例も確認しています。</p> <p>今後さらに情報収集を行い、確実に偽装請負が防止できるよう検討を進めていきます。</p>
19	<p>委託先の民間会社が職員の給与待遇改善のため、夏休み等の期間にお弁当や総菜を製造・販売するとか、子どもたちとの学校給食調理体験を有償で行うなど、作業委託費以外の稼げる手段を確保する等について何か制限をかける予定はありますか？</p>	<p>あくまでも給食調理のみの委託となるため、給食調理業務で使用する場所は、民間事業者が受託する業務以外に使用することはできません。</p>
20	<p>学校給食センターの設備を副業での使い方をしたいと申し立てがあった場合は許可されますでしょうか？</p>	<p>施設は、市の所有であることから、目的以外の使用については、許可しません。</p>
21	<p>民間委託導入スケジュールについて、臼田センターR5から民間委託開始について、無理があるため再考していただきたいです。R5年は新センター稼働でもあります。それに新小学校の開校も伴っています。新センター稼働というのは、とてつも</p>	<p>臼田センターの調理業務の民間委託については、今後、人口減少とともに、職員数も減少せざるを得ない状況が予見されるため、必要なことと考えておりますが、市民の皆さんの不安の払拭を丁寧に行い、しっかりと合意形成の基に進めていくべき</p>

	<p>ない準備がいきなり、スタート時は施設設備、機械器具も初めてで工程も動線も変わり、全て一からスタートするととてもとても大変な重要な時です。また新小学校の給食の体制づくりにも関わります。普通に考えれば、長年の経験者、スキルのある調理員を集めて、その大変な新センター稼働に向かっていく体制を組んでいくところです。ですがその年に、民間委託が同時にスタートすれば、まったく未経験の調理員と共に、稼働させなくてはいけなくなる可能性もあり、とても無事稼働して給食が提供できるとは考えられません。無事に稼働して運営が軌道に乗ってからの民間委託スタートになるよう再考してください。</p>	<p>ものと考えているため、委託導入のタイミングについては再検討することといたしました。</p>
2 2	<p>最初は学校給食センター化(南部センター) 問題でした。当時子どもを城山小学校に出していました親として、唯一の自校給食の恩恵にあずかっていたものとして、この素晴らしい自校給食を無くすのではなく、センター化を機に佐久市全地域の学校に自校給食への転換を広げることが佐久市として出来ないのかと、佐久市中の学校の保護者並びに賛同する先生方に呼びかけで、地区ごとに集会を持ち、学習し、いかに学校給食が子どもたちの教育・食育に大切なものか、決してセンター化が教育や経済面で良いことではないことを学びました。</p> <p>母親たちは、住民の過半数に届くような多くの反対署名を集めましたが、当時市はセンター化を推し進めました。とりあえず城山小の自校給食は守ることが出来ましたが、センター化の流れはきっと早いうちに来ると思っていました。間もなく、佐久城山小もセンター化することとなり、この時も地域住民も巻き込み、一丸となって頑張りましたがセンター化されてしまいました。</p>	<p>佐久市は、昭和 41 年から共同調理方式を基本方針として、運営・施設整備を進めてきておりますことから、自校給食は考えておりません。</p> <p>学校給食応援団の皆様との交流や地域の皆様との交流は、児童生徒にとっては生きた食育の 1 つであると考えておりますので、これまでどおり取り組んでまいります。</p>



2 3	<p>佐久市に新規就農し、少量多品目で農薬を使わず育てています。佐久市城山小学校の自校給食では、大根、小松菜等、少量で納品できたが、センターになり、ズッキーニしか納品できなくなりました。周りの畑では、定年退職なされ、小規模でやっておられる地域の方が多いです。そういった方々も、地域の学校で少量で出せるとなると、励みになると思います。収入というより、地域の子どもたちのために。という想いで納品しています。各学校ではコミュニティスクールや育成会等、様々な地域の方々や保護者が地域の子どもたちを見守り、育てています。私たちも食育活動として、子どもたちに田んぼ、畑の指導等携わっています。給食も教育の一貫であり、佐久市が力を入れて取り組んでほしいです。</p>	No. 2 2のとおりです。
2 4	<p>具体的には、「民間活用」により ①食材の地域調達はできるのかどうか ②輸入食材の多用と残留農薬の不安は解消できるのかどうか</p>	<p>食材料の発注、購入は、業務委託の範囲ではなく、これまでと同様に各学校給食センターの栄養教諭等が行い、学校給食応援団、市内産、県内産、国内産を優先に購入をしてまいります。</p>
2 5	<p>最初は学校給食応援団の存続や地元野菜の調達などを約束していますが、現にサウンディング調査の回答の中には「収益的なメリットが少ないため、食材料費も含めた全面委託としてほしい。」という回答をしている企業もあります。</p> <p>集約化した調理の現場では、同じ食材を大量確保できる外部からの食材を選ぶようになっていくのでは？</p> <p>その時に、行政はしっかり管理ができるのでしょうか？</p> <p>こちら地域密着型の企業でない限り、今のやり方を引き継いでいくのは難しいと思います。</p>	No. 2 4のとおりです。
2 6	<p>食材の購入は市が管理する、とのことですが、調味料から始まり、全てにおいて、でしょうか？</p>	No. 2 4のとおりです。

27	<p>学校給食は、子ども達や現場の先生方が、毎日食べるものです。なので、今までと同様に、地元の食を感じることや、食の安全は、変わらずそのまま大切にさせていただきたいと思っています。市外の業務委託された学校給食の話では、地元のものを使わずに、中国産の安い食材を使うことが多くなった、とか、長年勤めていた調理スタッフを解雇させた、など、良くない話も聞いています。これまで大切にされていたことが、委託する業者によって、全く違うものになってしまうのは悲しいですし、何より、その給食を口にする子ども達と現場の先生方が心配です。以上、一市民の意見になります。よろしくお願ひいたします。</p>	No.24のとおりです。
28	<p>民間業者が「地元食材を使用する伝統料理の提供に協力する」との提案はどの程度の事業を想定しているのか。</p>	<p>民間事業者が、地元食材を使用した献立の提案や「学校給食応援団」の活動への協力などを考えており、これは食育の向上にも繋がります。</p>
29	<p>食育とは子どもたちが自分の食べている食事が食材を含め、どこで、誰によってつくられ、どのようにして届けられているのかを知り、安全で安心できる「作り手の顔の見える食事」を提供するところだと考えますが、それが実践できるのかどうか。</p>	<p>食材の調達については、学校給食応援団を含め現行のとおりです。引き続き応援団の活動紹介や一緒に給食を食べるなど交流を推進していくとともに、調理現場の社会科見学を実施する等「作り手の顔の見える食事」を提供してまいります。</p>
30	<p>学校での給食を「教育の一環」と認識しているのであれば、利益を求める民間企業に「民間活用」だから、また「効率的」だからとそのまま委託すべきではないと考えます。学校給食の現場や保護者の声、他の自治体の進め方と現状について、しっかりとした情報公開と市民への説明を尽くして理解を得るべきだと考えます。</p>	<p>食育については、これまでと同様に担任の先生や栄養教諭等が中心となり、学校全体で取り組み、指導してまいります。</p> <p>食育の推進については、従来どおり担任や栄養教諭等が食育指導を行うとともに、民間事業者のノウハウを取り入れることや協力をいただくことにより、一層の向上が図れると考えております。</p>
31	<p>学校給食は、「食育」という食べ物から子どもの健全な発達を保障する大事な役割があります。そのため崇高な理念が不可欠であり、営利を目的とする「民間運営」にはなじみません。従いまして、これまで通り市の責任で行い「民間委託」をしない</p>	No.30のとおりです。

	<p>ようをお願い致します。</p>	
3 2	<p>民間委託になったからといって、課題が解決できるとは考えられません。子どもたちの教育の一環である、学校給食を通した食育を佐久市として一番大切に考えるのであれば、民間委託にすることは反対です。</p>	<p>No.30のとおりです。</p>
3 3	<p>浅科・望月給食センターの統合は「食育という教育」に反するので、統合しないでほしい。効率化のために統廃合するという考え方の間違いが、昨年からのコロナ対策ではっきりしました。かつて保健所を半数近くに統廃合し、病床を削減してきたために、このたびの医療崩壊ともいえる事態を招きました。福祉や教育、食育は工場生産と違います。統合すれば総職員数は必ず減らすことになるでしょう。なぜなら、統合の大きな目的は従業員の削減にあるからです（職員削減しないなら、統合する必要がないでしょう）。統合すれば4校の給食を今まで以上に短時間で作るようになります。時間に追われれば、やはり手のかからない食事に替えていかざるを得ません。効率化は従業員にとっても子どもたちにとっても、つらいことなのです。浅科センターを統廃合の対象にすれば、浅科の子どもたちは調理をしてくれる大人たちからさらに離れてしまい、親しみも薄れ、食育はより困難になるでしょう。</p>	<p>食育については、これまでと同様に担任の先生や栄養教諭等が中心となり、学校全体で取り組み、指導してまいります。</p> <p>浅科センターは、老朽化が顕著であり、今後対策が必要になることや、佐久市公共施設等総合管理計画を踏まえ、公共施設の有効活用の観点から、望月センターとの集約化を考えています。</p> <p>また、浅科センターと望月センターの小中学校の児童生徒数は減少しており、今後も減少が見込まれています。距離が近く、浅科センターより新しく建設された望月センターで、浅科センター分も併せ給食が提供できることから、集約することは可能と考えています。</p>
3 4	<p>民間業者はやはり「経営主義」です。民間任せにすると衛生面や食育の指導がないがしろにされる危険があるのではないのでしょうか。</p> <p>別の大量調理現場で、直営の職場でも、委託している現場でも業務に従事した経験がありますが、質は雲泥の差でした。未来を担う子どもたちのために、民間委託を導入しないように、よろしくお願ひしま</p>	<p>食育の推進については、従来どおり担任や栄養教諭等が食育指導を行います。</p> <p>また、調理業務を委託することにより、栄養教諭の業務との住み分けが明確になることから、より丁寧に食育指導を行うことができます。</p> <p>衛生面については、給食調理業務が民間委託となった場合、衛生管理は、「学校給食衛生管理基準（文部科学省）」「大量調理施</p>

	す。	設衛生管理マニュアル（厚生労働省）」「学校給食の手引き（長野県教育委員会）」及び「佐久市学校給食危機管理マニュアル」等の関係法令を遵守するため確保されます。
35	<p>食育は大切です。調理の現場が子供たちに見えることや子どもたちが知る必要があります。</p> <p>民間委託では見えない部分が多く、子どもたちに安心、安全が守られるのか不安が大きいです。</p>	<p>各給食センターでは、小学校の社会科見学による調理現場を見学していただいております。</p> <p>民間委託後においても、引き続き各給食センターでの調理現場の見学を実施してまいります。</p> <p>衛生面については、現行においても十分に取り組んでおりますが、給食調理業務の民間委託を導入している自治体から、民間事業者は大変高い意識をもって取り組んでいると伺っております。</p>
36	<p>現在行われている食育の取り組みの中で、民間委託によってできなくなる可能性があることがあれば、全て知りたい。</p> <p>逆に、民間委託によって新たに可能となる食育の取り組みは？ 現段階で業者からどのような提案があるか。</p>	<p>現在の食育活動は引き続き行えるものと考えております。加えて、事業者からは、「地元食材を使用した献立を提案するとともに、地元食材を使用した料理を提供する際に食材の説明を行う」「地元食材使用の食材展開コンクール等を行い、献立に取り組んでいく」などといった提案をいただいております。</p>
37	<p>調理の民営化はせず、今後も公営で進めてほしい。民営化するということは、企業として成り立つということですから、当然効率化が課題となります。すると、従業員の削減と給与等待遇の合理化がすすめられます。食材の選定や発注は市当局が行うと書かれていますが、職員が削減されれば、それまでのように「手を掛けた」調理が困難になります。地元の有機野菜の形が不揃いであれば、調理員は「もっと形の揃ったものにしてください」というでしょう。献立は栄養士がやるにしても、「そんなに手をかけた料理はできません。既製品のパック詰めにしてください」というでしょう。調理員とすれば、時間に間に合わせるために、そういう要求を出すのは当然で</p>	<p>学校給食の献立作成、食材料の発注、購入については、現行どおり各学校給食センターの栄養教諭及び学校栄養職員が行います。</p> <p>給食調理は今までどおり、栄養教諭及び学校栄養職員により用意された献立と食材料によって行われるものであり、委託化により変わることはありません。</p> <p>また、食育の推進については、これまでどおり栄養教諭や学校給食応援団などと連携した取り組みはもとより、民間事業者と協力することで向上が見込まれると考えております。</p>

	<p>す。すると、栄養士も妥協せざるを得なくなり、やむを得ず既成品のおかずを増やすことになるでしょう。また、食材の一括購入に踏み切らざるを得なくなるかもしれません。栄養士もつらい立場になります。民営化というのは効率化のことなのです。食事作りの効率化が何をもたらすか、今までも経験してきたことです。調理というものは、作っている一人一人が、どうやっておいしく安全なものを作れるか、愛情のこもった食事が作れるか、その努力と心意気に支えられています。効率化が優先されれば、手をかけた食事が難しくなり、調理員もつらいのです。食育も教育です。教育に効率化が似合わないことは、多くの教育関係者の一致した意見で、教育長さんもよくご存じだと思います。</p>	
38	<p>給食は食育が目的と市長は言われますが、それだけではないでしょう。子どもの福祉を任っている面も大きいのです。1日1食しっかりした食事を提供することが今大事です。</p>	<p>民間委託となった場合でも、学校給食の献立、食材料の発注・購入は、業務委託の範囲ではなく、これまでと同様に各学校給食センターの栄養教諭等が行うことから、1日1食しっかりした給食の提供が行えると考えております。</p>
39	<p>今の市職員の方々とだからこそ、密に連絡をとりあい、食育のための活動ができていました。給食応援団との提携、児童の畑への働きかけなどのコーディネート、他委員会とのコラボレーション、行事との兼ね合い、給食の交換ノート等。どれも、欠かせない食育です。利益、効率、合理化を重視した民間委託では、こどもの食育や食の安全が確保できる保証がありません。民間委託には反対します。</p>	<p>給食応援団からの食材の購入や交流は引き続き行ってまいります。</p> <p>食育については、これまでと同様に担任の先生や栄養教諭等が中心となって取り組んでまいります。</p> <p>なお、委託になっても調理員との関わりは、失われないように努めてまいります。</p>
40	<p>栄養士等、資格ある職種は、正規職員として、採用して行ってほしい。</p> <p>現調理員もパートとはいえ、市採用で使命感をもってやっておられる。</p>	<p>ご意見として承ります。</p> <p>調理員の皆さんは、ご意見のとおり使命感をもって日々の仕事にあたっていることは、承知しております。</p>
41	<p>今回示されている「学校給食調理業務」民間活用方針（案）の「現状と課題」につ</p>	<p>民間委託可能な業務については民間活用を検討していくため、調理員については正</p>

	<p>いて、「職員確保に苦慮している状況」とありますが、そもそも職員を採用していないと議会で答弁されており、採用していないのに職員確保に苦慮しているというのは理由になっていないと思います。</p>	<p>規職員の採用は行わない職種とし、退職者補充は会計年度任用職員で行っております。</p> <p>会計年度任用職員については、今までも処遇の改善は行っておりますが、毎年6名程度が年度途中で退職するなど、職員確保が難しい現状です。</p> <p>委託した場合においても、学校給食の意義や内容を損なわず、民間のノウハウや専門性・柔軟性を取り入れることで、安心して安全な学校給食を安定的に提供できると考えております。</p>
4 2	<p>民間委託に反対です。「職員確保に苦慮している」のは、現在の給食調理員の賃金や待遇が低いからと考えられます。</p>	<p>No.4 1のとおりです。</p>
4 3	<p>学校給食の「民営化」は、反対です。職員確保に苦慮している状況がつづいているため、民営化したいと説明されています。職員確保は賃金や待遇が左右しており、そこを改善せず民間に任ず、というのはあまりにも無責任すぎるのでないでしょうか。</p> <p>私も、短期間ですが市臨時職員として働いたことありますが、時給が県の最低基準と数円しか変わらない低さに唖然としました。低賃金で子どもに大切な給食をつくり続けるのは、無理があります。まずは賃金や待遇改善に力を入れれば、職員は確保ができて安定した体制が続けられます。</p>	<p>No.4 1のとおりです。</p>
4 4	<p>「学校給食調理業務」民間活用方針(案)には民間活用する理由として「職員確保に苦慮している状況が続いており」と記載がありますが、苦慮している原因はどのように考えていますでしょうか？一般的には、待遇や人間関係や業務内容が関与していると思い、それらが是正されない限り、民間に委託しても職員確保に苦慮する可能性は高く、安定的な給食提供が難しい現状は変わらないと思います。</p>	<p>学校給食調理業務は、決められた時間内に調理を行い、給食を提供しなければならないことから、体力を使う業務であることを含めて、仕事が大変なイメージがあるためか、近年において募集をかけても、応募される方が減少している状況であります。</p> <p>また、女性による社会進出の定着が進み、子育て支援の充実など、仕事を継続して行える環境が整っている状況も影響しているのではないかと推測します。</p>

4 5	民間会社への作業委託額はどのように決める予定でしょうか？職員の待遇が悪くなれば、尚更職員の確保が難しくなる気がします。	民間事業者は、金額だけではなく、業者からの提案内容等により総合的に審査するプロポーザルにより決定したいと考えております。
4 6	県職員と佐久市正職員と会計年度職員の待遇に格差はありますか？南部センターのみ今後も直営予定になっていますが、民間の他センター職員との待遇格差や調理対応格差が広がらないように工夫して頂きたいです。	待遇については、業務内容が異なるため、県職員と市職員、会計年度職員それぞれ違います。 民間の待遇については、民間事業者の方針がありますのでお答えは出来ませんが、調理員の現在の給与等の状況を伝えていきます。
4 7	民間に委託する場合に委託期間は区切りを設ける予定でしょうか？5年や10年の縛りがあれば、民間側も正社員を登用しにくくなると思います。	調理業務を民間委託する場合は、長期継続契約を考えております。 市で長期契約ができる期間は原則5年以内ですが、今後契約年数についても検討してまいります。
4 8	委託先民間会社の労務管理や業務実績について、チェックする予定はありますか？	調理業務が民間委託となった場合は、市で示している仕様書の内容について適切に実施されているか業務の履行を確認してまいります。
4 9	民間に委託する予定の各センターには佐久市正職の調理員を配置する予定はありますか？	給食調理業務の委託後は、当該業務について、民間事業者によって実施されるため、正規職員の調理員を配置することはありません。
5 0	佐久市正職員の調理員は給食調理以外への転属は難しいのでしょうか？現在の正職調理員の大半は直営予定の南部センターで勤務することになると思いますが、異動が難しくなるので、一般事務等の役場庁舎での経験も積んだ方が、給食センター内の風通しも良くなる気がします。	正職員の調理員は業務職であり、業務職への配置が基本です。
5 1	「献立作成は、これまでと同様に各学校給食センターの栄養教諭等が作成します」とありますが、全ての栄養教諭を佐久市職員にすることは出来ないのでしょうか？又は県栄養教諭は南部センターのみにするなどの配置転換の予定はありますか？	栄養教諭等の配置は、「公立義務教育諸学校の学級編成及び教職員定数の標準に関する法律、第8条の2」で定められており、長野県職員が配置されています。 配置転換は、上記の法律により、配置基準が定められていることから、配置転換はできません。

5 2	<p>新聞報道によると、「職員の確保に苦慮している」とあります。それは当然です。非正規の会計年度職員を募集しても、応募する側から見れば「極めて不安定な職種」になりますから、賃金も決して高くないし、応募しづらいでしょう。一定の雇用年数の保障や労働条件の改善が必要です。民営化にすれば条件が不安定でも人は集まる、と考えているとしたら、これは行政努力の放棄であり、市民のための市政から大きく外れる考えではないでしょうか。雇われる人も市民であることを忘れないでください。雇用される多くの職員が女性であることを考えれば、女性の地位向上という市政の方針にも反することになるのではないのでしょうか。</p>	No. 4 1 のとおりです。
5 3	<p>職員確保に苦慮している状況にならないよう、正規職員を採用する、会計年度任用職員の勤務や雇用条件を良くして雇用を促すといった対応をとることはできないのでしょうか。学校給食を民間委託している県内の他市町村では、毎年退職者や欠員が出て、長年勤めている人が減っている。待遇が悪いという理由で辞めてしまい、職員の入れ替わりが激しい。会社は現場任せで、巡回指導や衛生教育、業務内容の把握などせずに、調理員が勝手な行動をとるようになってきているという現状が実際にあります。よって現在の佐久市の課題について民間委託になったからといって改善できるとは考えられません。またそのような現場で、安心安全なおいしい給食作り、食育の生きた教科書となる給食作りができるとは考えられません。</p>	No. 4 1 のとおりです。
5 4	<p>職員確保に苦慮しているのは、雇用の条件が不十分な反映であり、条件が良ければ人材は確保できるはずです。</p> <p>民間による効率性の確保の中には、労働条件がどうなるのか、懸念があります。子</p>	No. 4 1 のとおりです。



	<p>どもたちによりよい給食を提供したいという思いを形にしていくには、効率性ばかりではなく、子ども達に関わるゆとりが必要です。</p> <p>たいていのノウハウは民間でも可能でしょう。佐久市が子どもに関わる給食を「大事」にする市である事を充実した直営で示して欲しいです。</p>	
5 5	<p>民間委託の理由として人材を集めることが難しいとありますが、そもそも給食調理員を任期付き雇用で安く雇おうとするから、人が集まらないのです。それは民間委託しても同じことが起きるはず。正規採用できちんとした賃金を払えば誇りと責任をもって仕事をする人材が集まるはずです。市民に賃金を払うことは地域の経済を回すことになり、市が税金でやっていいことでしょう。</p>	No.4 1のとおりです。
5 6	<p>栄養士は市や県の職員のままと言いますが給食を作るのは共同作業です。相互の信頼や作るものへの理解が必須です。委託された業者の雇用者とどうやっていくのか、心配ではありませんか。</p>	<p>委託後も、献立作成、食材料の発注、購入は、市で行ってまいります。委託後においては、受託事業者との打合せ会議をとおしての調理方法の確認など情報共有を図り、業務を実施してまいります。</p>
5 7	<p>今実際に働いている職員の方たちはどうなるのか？という問題があります。</p> <p>また、職員確保に苦慮しているとありますが、正職員を増やしたり、給与や身体的負担の見直しや感染症時の欠勤対応など、成功例のある自治体を参考にするなど、工夫はできると考えます。</p>	<p>雇用の確保は、サウンディング型市場調査の結果、8事業者中5事業者においては、地元雇用を優先し、会計年度任用職員を継続雇用する意向を示しています。これを踏まえて、仕様書に盛り込むことで雇用の確保に努めてまいりたいと考えております。</p> <p>また、民間委託可能な業務については民間活用を検討していくため、調理員については正規職員の採用は行わない職種とし、退職者補充は会計年度任用職員で行っております。</p> <p>会計年度任用職員については、今までも処遇の改善は行っておりますが、職員確保が難しい現状です。</p>
5 8	<p>「職員確保に苦慮している状況」の根本的な原因は何だと考えているか。佐久市が</p>	No.4 1のとおりです。

	<p>人件費削減、職員削減の一環で正規職員を長年採用せずに来たことが大きな要因だと考えるが、そこはどうか認識しているか。そうだとすれば、理由はあるにせよ、結果として市の判断の結果として職員確保が難しくなっていることを民間委託の理由に持ち出すのはおかしいと思うが、いかがか。</p>	
<p>59</p>	<p>昨年の9月まで佐久市住民であった立場から、意見を申し上げます。</p> <p>どこの自治体でも少子化が進む中で、佐久市でもこの10年を比較すると、少しずつ人口減少が進んでいます。佐久市でも、移住促進を目指した補助金制度を進めていますが、これから子育てを考えている若い人たちにとって、移住を考えようとする場合、その地でも教育環境や医療体制は大きな判断の材料となるかと思えます。学校教育の中で学校給食が充実していることは、佐久市の魅力として大きくアピールできるかと思えます。</p> <p>しかし、今回の給食調理業務の民間活用方針(案)の大きな理由の一つは、職員の確保に苦慮しているとのこと。民間委託にすれば、本当に職員が確保できるのでしょうか？そもそも、今回のコロナウイルス感染の対応にしても、各自治体ではその対応に大きな困難が生じました。一概には言えませんが、人口の多い都市部で感染者への対応など困難をきたしていたと思えます。行き過ぎた行政の人員削減が、招いた結果だとも考えます。質の高い給食を維持するためには、とにかくその業務に誇りを持ち、一定の身分が保証された中で行政が一体となって運営を行っていくことこそ重要だと考えます。佐久市の職員として従事しているのであれば、万が一の災害対応の場合、職員として様々な場所で業務を果たしていただく、そのようなことも可能にな</p>	<p>No.41のとおりです。</p>

	るのではないのでしょうか。	
6 0	現場の意見を聞き、現状でよいなら、わざわざ民間委託する必要はないと思う。	一層の食育推進、民間ノウハウの導入による効率的な運営、労務管理に係る負担軽減のために民間委託を導入したいと考えております。
6 1	市内一律の献立にする予定はありますでしょうか？浅科センターと望月センターも合併予定ですし、学校毎・地区毎に献立を分けているより、一律にした方が献立作成の人員も効率化できると思います。食材の確保が難しい場合は検討する必要がありますが、地域の個人農家だけでなく大規模農家からの仕入れもしやすくなると思います。	<p>栄養教諭等の配置は、「公立義務教育諸学校の学級編成及び教職員定数の標準に関する法律」第8条の2で定められており、長野県職員が配置されています。</p> <p>栄養教諭等は、各センター配置されており、地域食材の活用を含めた献立を作成しております。</p> <p>このことから、給食センターごとの献立であり、市内一律にする予定はありません。</p>
6 2	<p>将来的にすべて業者任せにならないだろうか？</p> <p>県外では給食を業者へ丸投げのところが、冷めている、おいしくない、予算の関係で品数が少ない等々目を疑うようなものがあります。子供たちがかわいそうになります。説明では食材の仕入れ・発注は市で責任をもって・・・とありますが、業者アンケートによると仕入れから業者に任せてほしいという意見があります。将来的にすべて業者任せにならないとも限りません。その点は確約できるのでしょうか？</p>	<p>学校給食業務については、文部科学省の「学校給食業務の運営の合理化について」の通知の中で、民間委託の実施について、「献立の作成は、設置者（佐久市）が直接責任をもって実施すべきものであることから、委託の対象としないこと」とされていることから、献立の作成に加えて食材料の発注から購入までは、現行のとおり栄養教諭等の一連の業務です。</p> <p>このことから、給食センターの業務すべてを民間委託することはありません。</p>
6 3	浅科給食センターを残してほしい。	No.33のとおりです。
6 4	浅科センターの管轄の浅科地区は、現在佐久市の中でも一番小規模であるために地域に根差した地産地消を活かした食育の推進のできている大変すばらしい地域です。それは浅科センターがあるからこそできている食育です。それは望月地域も同じです。センターを統合すれば、浅科地域にも望月地域にも今の様なきめ細やかな	No.33のとおりです。

	対応をとった給食提供や食育ができなくなります。浅科センターを現状維持していただきたいです。	
6 5	望月センターR8年から民間委託開始について、無理があるため再考していただきたいです。浅科センターを廃止し、望月センターから給食を運ぶようになるとしたら、望月は食数も増え、学校も2校増え、今までと同じ給食作りではなく、新体制の工程、動線を考え、設備的にも改修等必要になります。臼田と同じく、新体制で運営して軌道に乗ってからの民間委託のスタートになるよう再考してください。	No.33のとおりです。
6 6	民間委託せず、市直営でやってほしい。	No.60のとおりです。
6 7	他のセンターも、順次、自校給食にしてほしい。	佐久市は、昭和41年から共同調理方式を基本方針として、運営・施設整備を進めてきておりますことから、自校給食は考えておりません。
6 8	地元産食材を使用した場合にその費用負担が保護者にかかってこないか。	地元産食材を使用しても保護者の負担は変わりません。保護者からお預かりしている給食費は、これまでどおり食材料費のみに充てられます。 ただし、食材の値上がり等により給食食材への支払が、現状の給食費で賄うことが難しくなった場合は、変更することもあります。
6 9	給食民営化に反対します。	ご意見として承ります。
7 0	判断理由について、サウンディング型調査の結果や県内の自治体の導入があげられていますが、業者や自治体の回答では、効果がないという回答は普通あげられないと考えます。判断理由としては、不十分ではないでしょうか。子どもたちの教育にとってどのような効果があるのかという視点で、真剣に検証していただきたいです。	先行自治体の現場の調理員や栄養士等にも話を聞くなど、情報収集を行い検証をしてまいりたいと考えております。

7 1	<p>学校給食をどういう形態にするかは、各自治体の、子どもの大事な心身の発達に関わる給食を大事に位置付けるかという方針の結果、全国 30.3%は直営を堅持しているのだと思います。県内の民間委託市が、長野市、飯田市、諏訪市、駒ケ根市、大町市、であるなら、19市中、14市はまだ直営だという事ですか。</p>	<p>県内で学校給食の調理業務を委託している自治体は、19中9市が導入しています。</p> <p>内訳は、長野市、松本市、飯田市、諏訪市、須坂市、駒ケ根市、中野市、大町市、茅野市です。</p>
7 2	<p>子ども達の数も減り学校の統廃合もあり、その時に自校給食をお考えにならなかった事はもったいなく残念に思います。地域の子もたちが健やかに育つことへの投資は、地域住民は惜しまないと思います。給食室から漂う匂いやおばちゃんたちの笑顔と声掛け、地域の農家のみなさんが育てた旬の野菜や果物の美味しさ、みんなみんな子どもたちの思い出となり血となり肉になります。経済苦の中で働くお母さんが増えています。一食でも心温まる食事を子どもたちに食べさせたい。当時も、食育は母親の役目と散々言われました。時代は大きく変化しています。民間委託には、やはり儲けがまず有ります。「おいしいものを子どもたちに」の思いは、何よりそこで働く佐久市の職員のみなさんの誇りだと思います。教育は心があつてこそと、思います。地域の雇用にも多いに貢献します。行政はパブリックコメントで、ようよう変わるものではないのを承知で書かずにはられませんでした。よろしくお願いいたします。</p> <p>将来の佐久市を担う子どもたちのためにも、給食の民間委託に反対します。</p>	<p>民間委託をする業務は、食材の検収、調理業務、配缶、配送の準備、洗浄清掃等のみで、献立の作成、食材料の発注、購入は、これまでと同様に、各センターの栄養教諭等が行うとともに、給食の提供も、決められた時間内に調理を行うことから、これまでと同様となります。</p> <p>また、食育の推進については、従来どおり担任や栄養教諭等食育指導を行うとともに、民間事業者と協力してまいります。</p>
7 3	<p>市民の暮らしや命にかかわる大切なものは民間委託するべきではない。</p> <p>民間は利潤を上げるために営業するわけで、コストカットで品質が下がる、利益が出なければ撤退したり他に譲ったり、事業が不安定になります。大切な事業やイン</p>	No.7 2のとおりです。

	<p>フラは公が税金で運営することが必要です。ヨーロッパの水道事業など、今民間から公に戻したりしているそうです。</p>	
7 4	<p>教育には権力もロビー活動もなく即座の経済効果もないので、国も県もそして市も、金を回しません。安くやろうとします。しかし、教育は未来を作ること、50年後100年後を見て手厚い施策をすべきです。これをするかどうかは政治や社会の本質を示します。</p>	<p>ご意見として承ります。</p>
7 5	<p>個々の意見には回答しないそうですが、この後どうされるのか、は知らせてください。</p>	<p>学校給食調理業務民間活用方針(案)について、パブリックコメントでいただいた意見は、ホームページで市の考えを公表します。</p>
7 6	<p>企業に業務を委託するという事は、その企業も利益を出す必要があるということ。</p> <p>地域密着型の優良な企業でない限り、コストや手間の削減をしていくのは企業としては当然のことであり、今までの「食育」の観点に基づいた献立、調理法を引き継ぐ事は不可能になっていくと思っています。</p> <p>何社に委託するのかにもよりますが、大規模な調理を委託する場合、今まで大切にしてきた地域ごとの素晴らしい独自性を維持するのは不可能だと考えます。</p> <p>また、市の栄養士さんによる献立作成は引き継がれるとはいえ、いちいち企業を経由することになり、直接指示できない弊害が起こってくると考えます。</p>	<p>調理指導は、指示書により、民間事業者の責任者と打ち合わせを行い、連携及び情報の共有を行います。臨機応変な対応が求められる場合でも、サウンディング型市場調査の民間事業者との対話の中では、事前に発注者と民間事業者の責任者がしっかり打ち合わせを行うことで、不都合は生じていないと意見をいただいています。</p> <p>このようなことを含めて、民間事業者と機械的な指示や対応ではなく、コミュニケーションを大切にしながら情報を共有し、意見等を重ね合い、双方で児童・生徒に安心して安全な給食の提供を行える体制づくりが必要と考えております。</p> <p>学校給食応援団の皆様には、児童・生徒のために安心安全な食材の提供にご協力をいただいております。応援団の活動紹介と一緒に給食を食べるなど交流にも努めております。</p> <p>食育の推進については、従来どおり担任や栄養教諭等が食育指導を行うとともに、民間事業者と協力してまいります。</p>
7 7	<p>この給食民間活用の最大の目的は何でしょうか？</p> <p>給食職員の人件費や給食センターの老</p>	<p>一層の食育推進、民間ノウハウの導入による効率的な運営、労務管理に係る負担軽減のために委託するものです。</p>

	<p>朽化対策へのコスト削減、行政の負担軽減のためとしか考えられません。</p> <p>子供たちの健康、教育の分野において、コスト削減を考えるような自治体には未来を感じられません。</p> <p>全国的な集約化の流れに乗るのではなく、もっと独自性を持った成功例のある自治体を見習って下さい。</p> <p>移住促進を掲げるならば、そこには削減どころか予算を上積みさせるくらいの気概が必要と考えます。</p> <p>仮に民間委託があり得るとすれば、先ほども挙げているように、地域ごとにその地域に密着した企業への委託、その一点のみです。そのような企業であれば、それこそ官民の協働となり、創意工夫が期待できるでしょう。</p> <p>もし、大企業に一本化するような考えがあるならば、市が現時点で約束している事には必ず問題が出てくるはずです。</p> <p>自校給食が理想的なことは分かっていることであり、食材の地産地消や現在職員さんたちが行っている工夫された調理法、給食応援団など、今ある素晴らしい点をもっとアピールできる施策を、市民と一緒に考えて下さい。</p>	<p>民間委託可能な業務については民間活用を検討していくため、調理職員については正規職員の採用は行っていない職種となっており、退職者補充は会計年度任用職員で行っております。</p> <p>会計年度任用職員については、今までも処遇の改善は行っておりますが、職員確保が難しい現状です。</p> <p>民間活力を導入することで、民間へ転籍した職員の雇用条件の向上につながる可能性も考えられます。</p> <p>民間独自のネットワークを活用した職員確保が期待できると考えております。</p> <p>業者選定については、契約金額だけで判断するのではなく、業者の学校給食における実績や実際に配置する予定の職員の経験、さらには、学校給食の質の維持及び安全性の確保、また、これまで大事にしている学校給食応援団をはじめとする地産地消の取り組みを含めた食育の推進が図られることが大前提です。このようなことから、学校給食に取り組む考え方などを提案していただき、委託事業者を選定するプロポーザル方式による入札を考えております。</p>
78	<p>民間委託している県内5市等を例に「効果がある」などとしているが、逆に、それらの市で課題となっていることは確認したか。どのような課題があると聞いているか。</p>	<p>県下各市の給食調理業務の委託状況調査や委託している市から状況を伺う中で、指揮命令系統の複雑化など課題があることを確認しております。</p> <p>今後、新たに委託した市や継続している市へ再度委託状況の確認を行い、課題についての解決策を検討してまいります。</p>
79	<p>見積もりの項目は。「必ずしも削減とまらない場合がある」というのは、どういうことか。削減にならない理由は、労務管理の事務負担の軽減は、例えば時間に換算するとどの程度か。</p>	<p>会社の見積書の内訳から、会社経費の計上があり経費が上昇する場合があります。労務管理の事務負担の軽減としては、募集事務、面接、採用に係る時間、給与支払いに係る時間、勤怠管理に係る時間などの削減になりますが、職員はこの他に様々な</p>

		業務を行っているため、労務管理業務だけ抜き出し時間を換算するのは困難です。
8 0	民間委託の一般的な問題点として、低待遇の民間労働者の犠牲を前提とした経費節減の構造があるが、委託する場合、民間事業者での調理員の待遇について、現在と同等のレベルを維持するための方策は考えているか。	現在の給与状況は、伝えていきます。
8 1	南部センターは「当面の間」、直営としているが、「災害時の対応や臨機応変な対応を確保するため」という理由であれば、今後ずっと残していく、とすべきではないか。 退職不補充で正規調理員がいなくなった時点で民間委託を考えているということか。	当面の間、南部センターは、災害等の対応のため正規職員がいる施設として、直営とし、正規調理員がいなくなった時点での対応は、今後検討してまいります。 なお、災害対応等については、調理業務が民間委託となった場合でも、仕様書及び契約書に規定することで、確保できると考えております。
8 2	仮に将来的に南部センターも民間委託となった場合、公の機関としての給食調理のノウハウは永久に失うこととなるが、その点についてどう考えるか。	給食調理のノウハウについては調理員同士の引継ぎ、書面による引継ぎを行い、その内容については、市としても共有していくため、ノウハウが失われるとは考えておりません。
8 3	今回の方針案に関して今後行う現場職員へのアンケートでは、「民間委託自体に対する考え方（賛否）」という最も肝心な点を設問に盛り込んでほしい。 また、そのアンケートで出た意見とそれへの回答も、ホームページで公開してほしい。	説明会后、無記名でアンケートを行い、調理員、栄養士の方々から意見をいただいております。民間委託については、自由な意見を記入できる項目を設けて意見を求めています。 アンケートの意見、回答について、ホームページ上の公表は考えておりません。
8 4	他県では、民間委託した給食センターで大規模な食中毒が発生したにもかかわらず、その原因調査を行った審議会の議事録が「法人にとって不利益だ」との理由で非公開にされている例があるが、ありえない話だ。そのようなことが決してないよう、委託業者は委託業務に関しては公共機関と同等の情報開示の責任があることを、仕様書や契約書に明記してほしい。	調理業務の安全については、国の衛生管理基準等に基づき、衛生管理の徹底を図ります。 食中毒などの発生があった場合の対応については、今後、導入している自治体へ調査を行い、ご要望の情報開示の責任など仕様書に明記できるか検討してまいります。



85	<p>民間委託することによる、子どもたちにとってのメリットは何か。</p>	<p>民間委託となった場合、食育推進の向上が期待できることや安心安全な給食提供こそが、子どもたちにとってメリットであると考えております。</p>
86	<p>学校給食民間委託には反対です。学校給食のセンター化が進められてきて50年がたち、この間、子どもの健康、食の安全、食育の大切さが見直されて、給食センターのあり方も岐路に立たされていると思います。城山小学校の自校給食の実践から、「自校給食が望ましい」と南部センター移行時にも、教育委員会からのご意見がありました。「食べることは、生きること」生産者の顔が見え、作り手の顔が見えることが、食育の第一歩です。美味しい給食を待ち望んでいる子どもたちに、安心・安全な給食を望む保護者に、納得のできる方針が、民間委託とは思いません。効率化やコストダウンを教育の場に持ち込むのはやめてください。アレルギー対応は個別に丁寧な配慮が必要ですし、好き嫌いがあっても、毎日食べる給食で体も心も育つ姿を、学校現場と給食課や教育委員会が連携して支えていくことに力を注いでください。手間を惜しまず、丁寧な対応こそが大事です。行政が責任を持って学校給食を運営してください。</p>	<p>佐久市は、昭和41年から共同調理方式を基本方針として、運営・施設整備を進めてきております。</p> <p>学校給食は、学校教育の一環として実施されているものであり、それは委託後も変わりません。給食応援団からの食材の購入や交流は引き続き行い、学校での食育は、これまでと同じように担任の先生や栄養教諭等が中心となり、学校全体で取り組んでいきます。</p> <p>委託事業者の調理員のスタッフにおいても、これまでどおり、学校へ訪問をさせていただき食育のお手伝いをさせていただきます。</p> <p>また、アレルギー対応は、「佐久市学校給食アレルギー対応食供給事業実施要綱」等に基づき、対象食材の除去や代替食の提供による対応を行っております。食物アレルギーの症状は、一人ひとり様々なので、保護者の方と学校、各給食センターによる三者面談を行い、どのような対応ができるか話し合っております。</p> <p>民間委託導入後も、アレルギー食材の除去や代替食の調理を行うことから、民間事業者と連携及び情報の共有を図り、安心して安全な給食の提供をしてみたいと考えております。</p>
87	<p>佐久市は温暖化に伴い、「佐久市気候非常事態宣言」を出していますが、その文言の中に国連の持続可能開発目標（SDGs）に触れていますが、その11は「住み続けられるまちづくりを」として、「都市や人間の居住地をだれも排除せず安全かつレジリエントで持続可能とする」と目標を掲げています。SDGsは何も気候変動</p>	<p>学校給食をすべてを民間委託をするのではなく、調理業務等を民間委託します。</p> <p>このことから、学校給食の運営は、引き続き教育委員会が責任をもって対応をします。</p>

	に限ったことではなく、このような街づくりも重要だと国連は謳っています。佐久市の行政が責任をもって学校給食を運営していくことこそこの考えに沿ったものとなるのではないのでしょうか。またそのような市であればこそ、これからは若い人々が魅力を感じて移住を考えるのではないかと思います。ぜひとも、民間委託の方向は考え直し、アンケートを取るなどして市民の論議をすすめられるよう、再考をお願いします。	
88	それぞれのセンターで、異なる業者に委託するとのことか。	給食の質を向上させるためにも、業者間の競争は重要と考えます。 その中で、異なる業者により委託を行っていくことを検討しています。
89	出来上がる給食は、全校同じものになるのでしょうか？	現在、各給食センターに栄養教諭等が在職していることから、センターごとの献立となっております。 民間委託後も現状のとおりです。
90	現時点での、業務委託する予定の企業名を教えてください。	現時点では、委託する民間事業者は決まっておりません。
91	調理にかかわっていた知人よりも、大きな鍋を持ったり腰に負担がかかり大変なこと聞いています。改善できる方法はないのでしょうか。民間とでは、きめ細かさや子どもたちへの思いがちがうのではないのでしょうか。時には、子どもたちの給食センターを見学し、「ありがたさ」を実感するのも大切ではないのでしょうか。(すでにやられているのかもしれませんが)	調理員の負担軽減は、現場の状況を確認して対応を図ってまいりたいと考えております。 各給食センターでは、小学校の社会科見学による調理現場の見学を実施しております。 民間委託後においても、同様な対応を図ってまいります。
92	もし委託に踏み切るなら、少なくとも1つのセンターは直営として維持し、市が学校給食の水準や調理員の技術継承に責任をもつ形にすべきだと考えます。ゼロか百かの議論にしないことを切にお願いします。	当面の間は、南部センターを直営で運営する予定です。民間事業者との比較や検証を考えております。
93	広報やホームページ上で、たった2週間、意見を募集するのではなく、小学校や保育園にお子さんを通わせている保護者	ご意見として承ります。

	にも、学校を通じて意見募集している旨を、周知して欲しいです。	
--	--------------------------------	--